

呉人恵先生最終講義

「これから始まる私の北方言語研究」

呉人恵先生が2022年3月をもちまして、富山大学を定年退職されます。
どうぞ、最終講義にお集まりください。



日時：2022年2月2日（水）

16:30～18:00

場所：人文学部第6講義室

（Zoomでの参加も可能です。尚、コロナの状況によってはZoomのみでの開催の可能性もあります。）

◎ 事前申込みが必要です。（参加費無料）

先生は、30年近くシベリア北東部に分布するコリヤーク語の研究を続けていらっしやいますが、これまでの成果とこれからの成果を統合した『コリヤーク語文法』を完成させることが、目下の最大にして最難関の目標とのことです。

略歴：山梨県甲府市に生まれる。東京外国語大学大学院外国語学研究科修了。博士（文学）。北海道大学文学部助手、富山大学人文学部助教授を経て、2003年度より富山大学人文学部教授。2021年度より、北海道立北方民族博物館館長を兼任。

論文：「分詞および関係詞によるコリヤーク語関係節の相補的形成」『北方人文究』1(2008), 「コリヤーク語の属性叙述—主題化のメカニズムを中心に」『言語研究』138(2009), Koryak. In: M. Fortescue et al. (eds.) *The Oxford Handbook of Polysynthesis* (2017, Oxford University Press), Property predication in Koryak viewed from Japanese. In: P. Pardeshi et al.(eds.) *Handbook of Japanese Contrastive Linguistics* (2018, Mouton De Gruyter), Koryak. In: T. Tsunoda (ed.) *Mermaid Construction, A Compound-predicate Construction with Biclausal Appearance* (2020, Mouton De Gruyter), 「コリヤーク語チャウチュヴァン方言における3系列の母音調和」『アジア・アフリカ言語文化研究』100(2020), **著書：**『危機言語を救え！—ツンドラで滅びゆく言語と向き合う』（大修館書店, 2003）, 『コリヤーク言語民族誌』（北海道大学出版会, 2009）, **共著：**『探検言語学』（北海道大学出版会, 2014）, **訳書：**『怒れる神との出会い—情熱の言語学者ハリントンの肖像』（三省堂, 1992）

事前申し込み：URL か QR コードからどうぞ。2022年1月25日（火）締切

<https://forms.gle/Qm73FD5WeqfxDnk36>



問い合わせ先 富山大学人文学部言語学研究室 安藤智子

E-mail ando@hmt.u-toyama.ac.jp